



小中連携ミニ子ども会議

6月22日(木)の朝、久枝小学校、鴨川中学校とオンラインでミニ子ども会議を行いました。「ミニ子ども会議」なので、時間は10分程度です。短い時間ではありましたが、各校の宝となるものについて紹介をしたり、環境に対する取組について実践報告、提案をしたりしました。

久枝小学校ではクスノキがシンボルとなっています。「くすのっきー」というキャラクターも存在します。鴨川中学校では、オリーブの王冠がシンボルです。校章にもオリーブがデザインされています。潮見小学校は、もちろんイトスギです。市内外のイトスギの基となっているマザーツリーがあります。

環境活動については、各学校での清掃活動の取組やそれに関するアンケート結果の報告がありました。7月9日(日)に行われる市民大清掃や地域のクリーン活動への参加の呼び掛けもありました。

5月24日付の9号でもお伝えした通り、潮見小学校は、小中連携教育研究指定校になっています。これをきっかけにして、子どもたち自らが、他校とつながることの意義や大切さを見出しながら、自校のよさや他校の特徴について気付いてほしいと思います。



タブレット端末の利用

一人一台、タブレット端末が行き渡り、子どもたちは、学習活動でごく当たり前を使うようになりました。

1年生は、自分が伝えたいことを文章で表すときに、補助的なものとしてタブレットで絵をかいていました。3年生は、ヒマワリやハウセンカの様子をタブレットで写真を撮り、それを観察記録に生かしていました。4年生は、インターネットを利用して松山市について調べました。6年生は、パネルディスカッションについて学習する際に、グループ活動の中で、タブレットを使っていました。各学年で工夫しながら、

ロイロノートを利用して自分の考えを発表したり、みんなの意見を集約したりしています。タブレットドリルやEILS(えひめICT学習支援システム)などを利用しながら基礎学力の定着も図っています。学習の道具として。またノート代わりとして普段使いができるようになってきました。

